

短大学科 幼児保育→こども教育

八学大改組・再編、定員減

大学は看護学科を昇格 3学部に

八戸市の八戸学院大学（小林眞学長）と同大学短期大学部（杉山幸子学長）は23日、2026年度の学部学科の改組・再編について発表した。短大部は幼稚保育学科を「こども教育学科」に名称変更。大学は昨年公表の構想案通り、現在の2学部3学科のうち看護学科を学部に昇格させ、3学部3学科とする。また18歳人口減少や近年の入学者数を踏まえ、こども教育学科と看護学科の定員はいずれ

れも80人から70人に、短大部介護福祉学科は40人から25人に減らす。

両学長が同大で記者会見を開き、概要を説明した。杉山学長はこども教育学科への名称変更について、入学直後の児童が小学校に適応できない「小1プロブレム」対応や障害児保育・教育の重要性の高まりを理由に挙げ、「より広く子どもの保育・教育に携わる人材の育成を目指す」と述べた。

また介護福祉学科で介護

学部学科の改組・再編について説明する小林学長（左）と杉山学長



に一層力を入れるとした。

大学の地域経営学部地域経営学科は「地域共創学部地域共創学科」、健康医療学部人間健康学科は「人間健康科学部人間健康科学科」にそれぞれ名称変更。定員は従来と同じ80人、100人とした。

小林学長は「魅力的な学び」と「安定した学生募集」をテーマに改組・再編を行ったとし「地域を盛り上げ、まちづくりの核となる大学」というメッセージを打ち出していく」と強調した。

（千葉真由美）